

事務事業チェックシート

事務事業No 91 事業名 国民健康保険給付事業

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	4	社会保障制度の充実
施策	1	社会保障制度の充実
基本方針	3	国民健康保険制度及び後期高齢者医療制度の適正な運営

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	国民健康保険事業特別会計	
	款	保険給付費	
	項	療養諸費	
	目	一般被保険者療養給付費	
	大事業	一般被保険者療養給付事業	
	事項	国民健康保険給付事業	

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	国民健康保険法	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	国保年金課	細澤 幸彦 (435-1057)
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	国民健康保険被保険者の医療を受ける機会を確保し、各種給付申請に対して遅滞なく給付を行うことにより被保険者の負担の軽減を図る。	和歌山県国民健康保険団体連合会に診療報酬等の審査及び支払に関する事務を委託している。国保年金課給付窓口において、高額療養費、コルセット等の療養費、出産育児一時金や葬祭費等の申請受付を行い、審査を経て被保険者に各種給付を行う。また、申請を受けて、限度額証、国民健康保険特定疾病療養受給証を発行する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		・国民健康保険団体連合会、被保険者からの支払請求の処理。 ・高額療養費の申請漏れを防ぐため、未申請者に対して通知を送付。	・国民健康保険団体連合会、被保険者からの支払請求の処理。 ・高額療養費の申請漏れを防ぐため、未申請者に対して通知を送付。	・国民健康保険団体連合会、被保険者からの支払請求の処理。 ・高額療養費の申請漏れを防ぐため、未申請者に対して通知を送付。	・国民健康保険団体連合会、被保険者からの支払請求の処理。 ・高額療養費の申請漏れを防ぐため、未申請者に対して通知を送付。	・国民健康保険団体連合会、被保険者からの支払請求の処理。 ・高額療養費の申請漏れを防ぐため、未申請者に対して通知を送付。

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	30,957,105	29,300,256	30,517,505	29,640,791	30,515,805		30,515,805		30,515,805	
伸び率 (%)	-	-	-1.4%		0.0%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	48,701	37,665	38,525	41,469	40,538		40,538		40,538
	非常勤職員	9,202	9,933	12,253	8,597	10,660		10,660		10,660
	小計	57,903	47,598	50,778	50,066	51,198		51,198		51,198
国庫支出金	6,616,106	6,853,109	6,488,615	6,967,503	6,515,937		6,515,937		6,515,937	
県支出金	1,143,264	1,162,461	1,149,608	1,141,416	1,058,512		1,058,512		1,058,512	
市債										
その他	20,807,478	18,912,461	20,397,952	20,355,923	20,047,038		20,047,038		20,047,038	
一般財源(税等)	2,390,257	2,372,225	2,481,330	1,175,949	2,894,318		2,894,318		2,894,318	
所要人数	常勤職員	6.56	5.04	5.15	5.46	5.34		5.34		5.34
	非常勤職員	4.85	4.90	5.81	4.08	5.06		5.06		5.06
主な予算内訳	一般被保険者療養給付費24,600,000千円 一般被保険者高額療養費3,190,000千円 退職被保険者等療養給付費1,500,000千円									

3 目標及び実績

指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	診療報酬審査数(請求の点検)	年度目標値							
		実績値			1,638,593	1,644,268			
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度				
	高額療養費の償還数	年度目標値							
実績値				24,410	35,237				
成果指標	一人あたりの療養等給付費(給付決算額÷平均被保険者数)	年度目標値							
		実績値			283,169	294,207			
	単位	円	全体目標値		全体目標達成度				
	高額療養費の償還額	年度目標値							
実績値				177,755,417	218,809,667				
単位	円	全体目標値		全体目標達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	給付事業の高額化及び申請件数が増加している現状において、高額療養費の申請漏れを防止するための制度周知を目的として勧奨通知を行っている。
「見直し」 「改善」案	